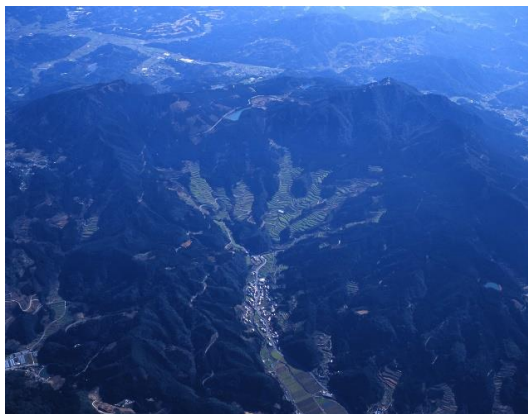


# 重要文化的景観 蕨野の棚田



|       |                                            |
|-------|--------------------------------------------|
| 種別    | 重要文化的景観                                    |
| 所在地   | 唐津市相知町平山上<br><a href="#">Google Mapで表示</a> |
| 指定年月日 | 平成20年（2008）7月28日                           |



蕨野の棚田エンブレム

蕨野の棚田は、八幡岳（標高764m）北麓の5つの谷筋の裾野、約36haの広大な急傾斜地に広がる棚田で、大平（おおひら）の棚田、石盛（いしもり）の棚田、南川原（なんがわら）の棚田、下の木場（したのこば）の棚田、九郎谷（くろうだに）の棚田、西蕨野の棚田の6つのエリアがあります。

700枚近く現存する棚田の成立は江戸期まで遡るとされていますが、現在の棚田は明治時代から昭和20年頃までに築かれたものがほとんどです。

棚田は、自然石をそのまま積み上げる野面積みを基本とする石垣で形成されており、それらの石垣は3メートルから5メートルの高さがあります。その中でも南川原の棚田にある石垣は、8.5メートルもの高さがあります。その高さから「日本一の高石積み」と呼ばれ、重要文化的景観「蕨野の棚田」の重要な構成要素のひとつに選ばれています。昭和元年（1926）から10年の歳月をかけて「石垣棟梁」と呼ばれる石工と作業に携わった村民の共同作業（「手間講」）により南川原の棚田にある石垣は造成され、今も地域住民の尽力によりその姿を保っています。

蕨野の棚田は各時代の石垣棟梁の技術や、「手間講」という地域協働の工夫と努力によって積み重ねられた姿があります。また、棚田全域に存在する暗渠やため池、横溝といった用水の仕組みは、先人の知恵と工夫が見られ、それらの観点により平成20年（2008）に重要文化的景観に指定されました。



南川原の棚田の高石積み



暗渠

問い合わせ

生涯学習文化財課

〒847-0013 佐賀県唐津市南城内1番1号

大手口センタービル6階

電話番号：0955-72-9171